



学校だより 1月号

令和 8 年 1 月 7 日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

「新年を迎えて」

校長 杉山 波也

新しい年を迎えました。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに登校した子どもたちと話していると、「今年は〇〇を頑張りたい」「〇〇ができるようになりたい」といった、新しい年への思いや期待が感じられました。1月は気持ちを新たに、目標をもって日々を過ごすことの大切さを改めて考えることのできる時期です。大きくても小さくても、一つ一つの自分の目標に向かって少しずつ努力を積み重ねていくことが、子どもたちの自信や成長につながっていくことを、学校生活を通して伝えていきたいと思います。また、修了式まで約3か月、今年度のまとめの時期ともなりました。子どもたちが今までの学びを振り返り、自分の成長を実感し、次の学年への期待をもって進級できるよう、私たちも意識的に声をかけ、支援を続けてまいります。



さて、本校は今年度より、文部科学省のリーディングDXスクール指定校として、1人1台端末を活用した授業改善の研究に取り組んでまいりました。本研究では、単にICTを活用することだけを目的とするのではなく、「子どもが主体的に学ぶ授業」を目指し、子ども一人ひとりに応じた個別最適な学びと、友達の多様な考えに触れながら学びを深める協働的な学びを、いかに一体的に充実させるかを追求してきました。12月12日(金)に行った公開授業研究会では、全国各地から100名を超す先生・教育関係の方々にご来校いただき、多くのご意見やご感想をいただきました。授業の中では、子どもたちが自ら課題を見出し、タブレット端末を活用して考えをまとめたり、共有したりしながら、友達の考えと比較・検討している姿も見られました。こうした学びの積み重ねにより、子どもたちの思考力や表現力、学びに向かう姿勢などが育ってきていることが感じられます。引き続きより良い授業を目指し、教職員一同取り組んでまいりたいと思います。

今年の干支は「午(うま)」です。馬と言えば、美しく力強く前へ前へと走り続ける姿が浮かんできます。子どもたちにも、すぐに結果は出なくても、あきらめずに前へ進み続けることの大切さを伝え、一人ひとりの頑張りを認め、励ましていきたいです。本年も、保護者・地域の皆様とともに、子どもたちの健やかな成長を支えていけたら幸いです。引き続き、本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

